

公民館の管理運営主体別の比較表

千葉市を取り巻く厳しい環境に的確に対応しながら、公民館が「学びを通じた地域づくりの拠点施設」としての役割を引き続き果たしていくためには、最も重要である「学習機会の提供」「地域人材の育成・団体活動の支援」「施設の提供」の3つの機能を更に充実させていく必要があります。

今後、これらをより効果的に実現できる運営主体を検証するため、市及び（公財）千葉市教育振興財団について、次のとおり比較を行います。

1 学習機会の提供

	方向	地域課題に取り組んでもらうためのさまざまな学習機会を提供する。
	現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 趣味的な講座が多く、地域課題に対応した講座等が不足している。 ・ 単発の講座が多く、参加者同士の交流・学習活動に結び付きにくい。 ・ 勤労者層など、幅広い層への働きかけが不十分。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題に関する講座、連続講座等を実施するための組織づくりが必要である。 ・ 現在公民館講座を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。
課題への対応	市	<p>これらの課題を解決するためには、専門性を有する職員による継続的な取り組みが必要であるが、現状では専門職員の配置が十分とはいえず、今後も47の公民館に優先的・継続的に配置することは困難である。</p> <p>このため、公民館全体の質・水準の向上には限界がある。</p>
	教育振興財団	<p>教育振興財団は千葉市民のため、教育に関する事業を総合的に振興することを目的として設立された団体であることから、高い意欲と専門性を持ったスタッフを有するとともに、新規職員研修などの資質向上のための体制も整っており、将来にわたり、専門性を有するスタッフを全館に配置していくことが可能である。</p> <p>また、同財団はこれまで、生涯学習センターにおいて、少子・超高齢化や家庭教育、キャリア教育等の現代的課題学習をはじめ、「ちば」を学ぶ講座、メディア学習講座等幅広い講座を実施しており、これらの実績やノウハウを活用した事業拡充も可能である。</p>

2 地域人材の育成・団体活動の支援

方向	市民自らが地域の課題に取り組む意欲を持ち、地域で仲間づくりが行えるよう支援する。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に関する相談に対応できていない。 ・地域課題の把握が不十分である。 ・ボランティアリーダーなど、活動の中心となる人材を育成する講座が少ない。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や人材養成講座を実施するための組織づくりが必要である。 ・団体活動をコーディネートするため、各館の情報の共有化、ネットワーク化が必要である。 	
課題への対応	市	上記の課題を解決するためには、地域の人材情報や団体活動の状況等の把握をはじめ、地域の課題・ニーズの理解等に基づく長期的かつ継続的な取り組みが必要であるが、人事異動等が避けられない市直営方式では限界がある。
	教育振興財団	<p>継続的・計画的な職員配置が可能であることから、長期的な取り組みにより、地域に根差した育成や支援が可能である。</p> <p>また、生涯学習センターにおける学習相談やボランティアセンター等の実績・ノウハウを活用した改善も期待できる。</p>

3 施設の提供

方向	より多くの市民の利用を促進する。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の結びつきや課題解決につながる取り組みが少ない。 ・利用団体が固定化する傾向にあり、新規参入しにくい。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に取り組む団体が継続的・安定的に活動できるよう支援する必要がある。 ・定期的に利用する団体の継続的・安定的な活動の支援と、新規に団体が参入しやすい環境づくりとを両立する必要がある。 	
課題への対応	市	これらの課題を解決するためには、地域のニーズ・活動情報等をきめ細やかに把握し、地域課題の解決等に取り組む団体に積極的に働きかけを行う必要があるが、専門職員の配置や長期的な取り組みが困難であることから、市の直営では限界がある。
	教育振興財団	<p>専門職員による長期的な取り組みが可能になることにより、地域課題の把握、学習活動への働きかけ、活動成果の地域還元などへの対応が可能となる。</p> <p>また、公の施設であることから、その提供にあたっては公平性・公正性・透明性が求められるが、生涯学習センターの運営実績等から適切な対応が可能である。</p>

以上の比較から、3つの機能全てにおいて、(公財) 千葉市教育振興財団が優位であると考えられることから、これを活用することで、千葉市の目指す「学びを通じた地域づくりの拠点施設」としての公民館の役割をより一層充実させていくことが可能であると思われます。

また、市の役割としては、生涯学習を推進する上で、行政の行うべき意義・役割・対象範囲等を明確にし、地域課題や現代的課題等に効果的に対応していくための計画策定や制度設計などを担っていくとともに、公民館を含めた生涯学習施設の管理運営についても、モニタリングや評価等を通じて、教育振興財団と連携しながら取り組んでまいります。